

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274200639		
法人名	有限会社エムサービス		
事業所名	グループホームやよい苑 2ユニット		
所在地	静岡県駿河区登呂4丁目27-29		
自己評価作成日	令和7年 7月10日	評価結果市町村受理日	令和7年9月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;jiyosyoCd=2274200639-00&amp;serviceCd=320&amp;type=search">https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;jiyosyoCd=2274200639-00&amp;serviceCd=320&amp;type=search</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和7年 8月5日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>* 登呂公園が前にあり、季節感を感じる環境や地域資源に恵まれたグループホームです。</li> <li>* 職員教育に力を入れ、資格取得や研修を支援し また動画研修を取り入れながら職員のスキルアップを図っています。</li> <li>* 専門のコンサルタントを立てて職員の意見や相談をの窓口となり、労働環境の整備を行い事業所の安定を図っています。</li> <li>* 利用者の外出支援としてなるべく毎日の散歩や日光浴が出来る様に支援しています</li> </ul>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>新入社員が入社するときには理念について説明をおこない、スタート時点からやよい苑の姿勢を伝えています。その後もユニット会議の度に代表者や施設長から理念の意味が説かれています。その中ではリーダーから「前職が訪問介護だった職員が、利用者の関わりにおいてまだまだであると、先輩職員の姿から知ることができたと言っていた」との発表もあり、日頃の取組が新人の自己覚知につながった事例もみられます。また、例えばパソコン関係が得意な職員にはホームページを管理する係など適材適所の推進でモチベーションを挙げていて、理念を基盤に確かな取組を継続することで自己研鑽とチームワークの高い集団へと育っています</p>
---

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社員証に記載しています。また施設玄関に理念を掲示し共有を図っています 会議等でも理念の基本を話しています ユニット会議の資料にも理念を記載し意識統一を図っています	「もう一つの我が家というのどういう意味を持っているのか」といった問いかけをおこない、捉え方が共有できるよう会議でも繰り返し挙げて、利他の精神について確認し合っています	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	登呂公園の散歩が主ですが、運営会や登呂祭りも地域との交流の場としています。 登呂祭りには市場を出し、子供会の踊りや、お神輿を見せてもらい、また年末には餅つきをしてご近所の方にも来て頂き、利用者様にとっても良い交流の場となります	創業者が地域に生まれ育ち、寺の総代も務めてきていることから、開設当初から地域のなかに溶け込んだ活動ができています。21年の歴史のなかで培った地域との連携は、今後も高めていく態勢にあります	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を中心として情報発信をしています。民生委員、町内会長、地域包括さんと意見交換を行い、認知症や介護の考え方、やよい苑の現状などを発信します。 登呂祭りでは利用者と一緒にみかん販売は以前から地域に知られています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議において、やよい苑での介護や研修の情報を提供し、また地域包括や民生委員からも地域の高齢者の情報や対応の情報を共有します	隔月開催の運営推進会議の内、年度末に開催するものについては懇親の場としています。ストレッチの講座や演奏会、食事会といったプログラムを加えていて、家族も集い、盛況です	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を通して地域包括の方との交流により市との連携を図っています。又必要に応じて生活支援課、介護保険課、社会福祉協議会に相談や助言を頂くことがあります。	市からの配信は必要に応じて休憩室に掲示しています。生活保護受給者が一時は「半数」にのぼったこともありましたが、現在では3名となり、定期的に生活支援課の訪問を受けています	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止マニュアルを基本として身体拘束適正化委員会を年2回実施し、動画研修による職員研修も含め身体拘束防止に努めています	身体拘束適正化委員会は、施設長をはじめユニットリーダーなど主軸を成す職員で構成し、四半期に1回開催されています。「今後について」「家族に対して」との項目が設けられた議事録から、改良への検討の跡を確認しました	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の講義内容を職員に情報提供する事により虐待防止の徹底を図っています。、職員のメンタルケアを含めて個別面談等を行っています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護と成年後見人制度について、講義内容を職員に情報提供する事により教育しています 制度の必要な利用者または申し出においては相談に応じます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約業務は管理者が対応し、利用者のご家族にご理解、納得して頂けるように説明いたします。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成時及び運営推進会議での意見やアンケートを運営推進会議や各ユニット会議に反映させています。ケアプランの説明や体調や様子の変化を電話やメールでお伝えする際に御家族の意見やお気持ちを聞く様にします	3月におこなった家族アンケートでは、総じて職員の対応が「とても良い」とあがっています。一方で苦言もあったことから、事業所としては真摯に受けとめ、早速改善にあたっています	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各会議で職員の意見や提案を聞き運営に反映させています。その他個別面談に於いての意見も運営に反映させていく予定です。また相談窓口のアドレスを設定し、職員の声を拾える様にしています	代表者の交代があったことも契機として、順次個別面談をおこなっています。現在2巡して、今後とも年2回はおこないたいとしていて、聞く体制の更なる整備が始まっています	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常に勤務状況を把握して対応しています。また個々の能力を生かした働き方を考え、モチベーションの向上に努めています。超勤や有休については個々の申請によって行っています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得や研修については積極的に支援を行っています。今年から研修については、動画研修の導入を試みています。またユニット会議では年間教育計画に従って、教育に取り組んでいます		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は日常的には出来ていませんが入居者の紹介や面接時の情報交換をサービスの向上に繋げています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	基本情報、家族の問診票、アセスメントシートを活かして本人との信頼関係を築くように努力しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントの作成時に、要望等を聞き取ると同時に、施設に於いて出来る事出来ない事を含め十分な説明を行い信頼関係の構築に努力しています また毎月担当職員からご家族にお手紙を書いています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを生かして対応を図る、その後はケアプランの説明を事前に電話で行う事により意向や希望を伺いながら、様子の変化を常に報告相談出来る様に心掛けます		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ケアプランを活かして利用者の意向に沿った介護が出来る様に心掛けています。日常の家事や作品の制作を通して共同生活の中で生きがいを感じて頂ける様に支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプランを活かし、家族と問題点を共有してお互いに協力しながら支援出来る様に心掛けています。 ご家族との関係を大切にし外出支援や帰宅支援行っています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所時には、「家族の問診票」をもってなじみの情報を聞きます。その後はご家族に協力頂きながら、今まで使用していた物や、思い出の有る絵や写真を飾る等なじみの環境を支援します。	家族を通じて、知人・友人の訪問もオープンに受け入れています。面会は制限とまではしていません。家族には「2、3名で」「20分程で」と伝えて、感染症対策としています	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の趣味や関心に配慮しながら、テーブルの席を設定したり交流しやすい環境を工夫しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所した後も連絡が取れる様になっています。転所の場合は様子を聞き支援できる情報があれば提供します。お看取りした利用者様には初盆にお花を送らせて頂いています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントやケアプランにはご本人の希望や意向を組み入れ利用者中心のプランを作成しています。ご家族からの意向も聴き取り相談しています。	帰宅願望のある利用者の支援として、家族が毎日のように訪れるというケースがあります。来訪の度に思いをノートに綴ってくださるので、家族がいないときには職員がそれを読んでかかせています	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に基本情報、家族の問診票、聴き取り等により把握できる様に努めています また、ケアマネさんや関係のあった介護事業所からの情報を把握します		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の情報は介護記録の入力や日報により職員間で共有しますが、ユニット会議に於いて再び全体の情報を共有しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議において利用者の状態の把握や問題点を話し合い、各担当者により経過報告を提出してもらいケアプランに活かしていきます。	ユニット毎に計画作成担当者がいて、夫々が介護支援専門員です。モニタリングは赤字で入れていてわかりやすく内容はサービス担当者会議につなげられ、現場に即した介護計画書が作成されています	サービス内容は個別ですが、長期目標、短期目標にその人らしさが見えないことから、今後は情緒面にも着眼した計画となることを期待します
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録より抜粋し経過報告(7表)に記載し介護計画に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者本位の介護に柔軟に対応していく為に、個別支援が必要な場合はケアプランに組み入れながら対応しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	登呂公園等の地域資源を生かし散歩したり玄関から公園を眺めて季節の変化を楽しむ事が出来ます。また近くのドラッグストアで買い物をしたり、秋には登呂祭りに参加して地域の方との交流を楽しんでいます		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に訪問医は定めていますが、専門医が必要とされる方は、訪問医と連携を図り専門医に受診して頂けるように支援いたします。	訪問診療医は看護師を帯同していませんが、事業所が訪問看護事業所と週1回訪問の契約をしており、事業所が間に入って双方の意見をつないでいます。医師はその日の受診者でなくても臨機応変に対応くださり、助けられています	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	基本的に訪問医は定めていますが、専門医が必要とされる方は、訪問医と連携を図り専門医に受診して頂けるように支援いたします。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問医は医療機関と連携し情報交換や相談に努めて頂いています。退院時の診療情報を訪問医に提供し看護サマリーによって看護情報を介護職員に提供して行きます		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化による指針を定め対応していきます。担当医から症状や状態についてご家族に説明し、ご家族の意向を確認します。	医師は24時間オンコールです。看取りをおこなう事業所として実績は豊富ですが、「新人も少しずつ慣れてくれたらいい」「夜勤者は2名いることだし」との考えから、体験を通じて自然に学習を積んでいます	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDの設置をし、防災訓練時応急対応の訓練を実施しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災計画を定め年2回防災訓練を実施しています。1回は地震、もう一回は水害を想定しています。	非常用の滑り台を開設時から備えており、BCPの策定も済んでいます。初めての取組として防災訓練の中でAEDの操作方法の習得機会をつくり、利用者も参加しています	新任職員の配置前には避難経路などの説明をおこなっておくことを期待します

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念を基に実践努力しています 年に一度、年間教育計画に従って 動画研修の機会を設けています。	長く勤める職員が増えていて、利用者とも親しい 間柄となり、意向を確認せずにリードしてしまう 場面があることは否めません。十分理解している 職員もいるものの、全体の課題として注視して います	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己 決定できるように働きかけている	選択肢の中から自己決定出来る様に 利用者に対して声掛けする様に 務めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	理念を基に実践度量していますが 職員不足や利用者の重度化により 希望に添えないこともあります		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	声掛けをしながら利用者様に合った 身だしなみを実践する様にしていま す。ご家族の協力を頂きながら季節に あった衣類の購入をお願いしています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている	利用者に出来る事ををお願いしながら 職員が食事の準備を行い、献立を掲 し楽しみにして頂ける様に心掛けて います。	献立を決めて買い出しに向くルーティンを3、4 日毎におこない、日々家庭的な食事が提供され るとともに、行事食や誕生会のケーキ等の楽し みもあります。刻み食、ミキサー食が必要な人は 6名で、職員が個々に対応しています	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	家庭的な料理を基本として行っていま す。水分摂取や食事量は介護記録 にて管理していますが、栄養バランスや カロリー計算まではしていません		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	毎食後口腔ケアを実践しています 週に1回歯科医が往診しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的な声掛けやトイレ誘導により排泄の失敗が少なくなる様に務めています。	平均介護度は2.7なものの室内で車いすを利用する人が半数、布ぱんつ利用は5名と、状態の幅が広く、対応が様々です。記録は現在タブレット(「ケア記録詳細」)でおこない、一目で把握しやすくなっています	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防については水分摂取や運動に日常的に心掛けていますが、利用者様の体調によっては医師と連携しながらお薬によって対応しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個浴でゆっくり入って頂ける様に支援しています。入浴時間を定めて対応していますが、特にご本人の希望時間があれば優先して対応しています。	浴槽が真ん中にあり、半身麻痺や座位が保てず2人介助となる場合に便利です。冬にゆずの入浴剤をつかい、嫌がる場合には日をかえて、気持ちよく過ごしてもらえよう図っています	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	特に就寝時間は設定していません。ご利用者様個々の生活習慣を尊重して、休んで頂きます。但し眠りやすい環境づくりに配慮する為にテレビは22:00に切ってもらう様にしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	夜勤者が配薬する事になっておりますので全ての職員が薬の管理について把握しています。処方箋は医師から薬剤師に依頼され、薬剤師から薬の説明や用法、容量についての情報をもらい、職員が介護記録に入力し情報共有します。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事などを一緒にやりながら役割を持つ事により生きがいがいや喜びにつながる様に配慮しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	登呂公園の散歩を日常的に日課としていますが、個別支援として近くのスーパー等へ買い物に行きます。また、ご家族と一緒にの外出に対しても支援致します。	登呂の豊かな環境に囲まれ、気持ちの良い散歩が叶う毎日です。餅つきやスイカ割といった活動的なイベントも毎月実施され、年間計画には花見と紅葉狩り、テーマパークが組み込まれています	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行きたい方には近くのストアに同行し買い物支援を行います。またお金を持っていないと不安になる方にはご家族と相談して金銭管理を行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族またはご利用者様からの希望があれば電話、ラインのビデオ通話に対応しています。ご本人様が手紙を書きたい場合は葉書を準備し住所などの情報を提供します。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各フロアーには職員が季節に応じた飾りつけを行い、衛生的に管理できる様に職員が清掃を行います。空調面はエアコンを一括管理する事により適切な温度に設定します	玄関に入ると絵手紙コーナーが出迎えてくれるほか、各階には七夕の短冊など季節のものが連なっています。共用空間・居室のカーテンは防炎加工が施され、遮光を含む2枚仕立てで、日差しの調整がスムーズです	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	なるべくお話が出来る利用者様同士を同じテーブルにしたり、廊下のソファでお話が出来る様に環境作りに努めています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に御家族と相談しなじみのある空間造りに努めています。	居室には介護用ベットとエアコン、洗面台、クローゼットが備え付けられています。持ち込みは人それぞれで、家族の意向で電磁治療器が置かれた部屋もあります。また、位牌にお水を毎日供える人もいます	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	残存能力に応じて居室からトイレに誘導出来る様に表示や手摺を設置しています。またご自分の部屋が分かる様に名前や飾りを工夫しています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274200639		
法人名	有限会社エムサービス		
事業所名	グループホームやよい苑 2ユニット		
所在地	静岡県駿河区登呂4丁目27-29		
自己評価作成日	令和7年 7月10日	評価結果市町村受理日	令和7年9月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;jiyosyoCd=2274200639-00&amp;serviceCd=320&amp;type=search">https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;jiyosyoCd=2274200639-00&amp;serviceCd=320&amp;type=search</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和7年 8月5日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>* 登呂公園が前にあり、季節感を感じる環境や地域資源に恵まれたグループホームです。</li> <li>* 職員教育に力を入れ、資格取得や研修を支援し また動画研修を取り入れながら職員のスキルアップを図っています。</li> <li>* 専門のコンサルタントを立てて職員の意見や相談をの窓口となり、労働環境の整備を行い事業所の安定を図っています。</li> <li>* 利用者の外出支援としてなるべく毎日の散歩や日光浴が出来る様に支援しています</li> </ul>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>新入社員が入社するときには理念について説明をおこない、スタート時点からやよい苑の姿勢を伝えています。その後もユニット会議の度に代表者や施設長から理念の意味が説かれています。その中ではリーダーから「前職が訪問介護だった職員が、利用者の関わりにおいてまだまだであると、先輩職員の姿から知ることができたと言っていた」との発表もあり、日頃の取組が新人の自己覚知につながった事例もみられます。また、例えばパソコン関係が得意な職員にはホームページを管理する係など適材適所の推進でモチベーションを挙げていて、理念を基盤に確かな取組を継続することで自己研鑽とチームワークの高い集団へと育っています</p>
---

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社員証に記載しています。また施設玄間に理念を掲示し共有を図っています 会議等でも理念の基本を話しています ユニット会議の資料にも理念を記載し意識統一を図っています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	登呂公園の散歩が主ですが、運営会や登呂祭りも地域との交流の場としています。 登呂祭りには市場を出し、子供会の踊りや、お神輿を見せてもらい、また年末には餅つきをしてご近所の方にも来て頂き、利用者様にとっても良い交流の場となります		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営会議を中心として情報発信をしています 民生委員、町内会長、地域包括さんと意見交換を行い、認知症や介護の考え方、やよい苑の現状などを発信します。 登呂祭りでは利用者と一緒にみかん販売は以前から地域に知られています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会において、やよい苑での介護や研修の情報を提供し、また地域包括や民生委員からも地域の高齢者の情報や対応の情報を共有します。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営会議を通して地域包括の方との交流により市との連携を図っています。 又必要に応じて生活支援課、介護保険課、社会福祉協議会に相談や助言を頂くことがあります。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止マニュアルを基本として身体拘束適正化委員会を年2回実施し、動画研修による職員研修も含め身体拘束防止に努めています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の講義内容を職員に情報提供する事により虐待防止の徹底を図っています。、職員のメンタルケアを含めて個別面談等を行っています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護と成年後見人制度について、講義内容を職員に情報提供する事により教育しています 制度の必要な利用者または申し出においては相談に応じます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約業務は管理者が対応し、利用者のご家族にご理解、納得して頂けるように説明いたします。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成時及び運営会での意見やアンケートを運営会や各ユニット会議に反映させています。ケアプランの説明や体調や様子の変化を電話やメールでお伝えする際に御家族の意見やお気持ちを聞く様にします。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各会議で職員の意見や提案を聞き運営に反映させています。その他個別面談に於いての意見も運営に反映させていく予定です。また相談窓口のアドレスを設定し、職員の声を拾える様にしています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常に勤務状況を把握して対応しています。また個々の能力を生かした働き方を考え、モチベーションの向上に努めています。超勤や有休については個々の申請によって行っています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得や研修については積極的に支援を行っています。今年から研修については、動画研修の導入を試みています。またユニット会議では年間教育計画に従って、教育に取り組んでいます		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は日常的には出来ていませんが入居者の紹介や面接時の情報交換をサービスの向上に繋げています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	基本情報、家族の問診票、アセスメントシートを活かして本人との信頼関係を築くように努力しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントの作成時に、要望等を聞き取ると同時に、施設に於いて出来る事出来ない事を含め十分な説明を行い信頼関係の構築に努力しています また毎月担当職員からご家族にお手紙を書いています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを生かして対応を図る、その後はケアプランの説明を事前に電話で行う事により意向や希望を伺いながら、様子の変化を常に報告相談出来る様に心掛けます		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ケアプランを活かして利用者の意向に沿った介護が出来る様に心掛けています。日常の家事や作品の制作を通して共同生活の中で生きがいを感じて頂ける様に支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプランを活かし、家族と問題点を共有してお互いに協力しながら支援出来る様に心掛けています。 ご家族との関係を大切にし外出支援や帰宅支援行っています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所時には、「家族の問診票」をもってなじみの情報を聞きます。その後はご家族に協力頂きながら、今まで使用していた物や、思い出の有る絵や写真を飾る等なじみの環境を支援します。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の趣味や関心に配慮しながら、テーブルの席を設定したり交流しやすい環境を工夫しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所した後も連絡が取れる様になっています。転所の場合は様子を聞き支援できる情報があれば提供します。お看取りした利用者様には初盆にお花を送らせて頂いています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントやケアプランにはご本人の希望や意向を組み入れ利用者中心のプランを作成しています。ご家族からの意向も聴き取り相談しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に基本情報、家族の問診票、聴き取り等により把握できる様に努めています また、ケアマネさんや関係のあった介護事業所からの情報を把握します		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の情報は介護記録の入力や日報により職員間で共有しますが、ユニット会議に於いて再び全体の情報を共有しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議において利用者の状態の把握や問題点を話し合い、各担当者により経過報告を提出してもらいケアプランに活かしていきます。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録より抜粋し経過報告(7表)に記載し介護計画に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者本位の介護に柔軟に対応していく為に、個別支援が必要な場合はケアプランに組み入れながら対応しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	登呂公園等の地域資源を生かし散歩したり玄関から公園を眺めて季節の変化を楽しむ事が出来ます。また近くのドラッグストアで買い物をしたり、秋には登呂祭りに参加して地域の方との交流を楽しんでいます		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に訪問医は定めていますが、専門医が必要とされる方は、訪問医と連携を図り専門医に受診して頂けるように支援いたします。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	基本的に訪問医は定めていますが、専門医が必要とされる方は、訪問医と連携を図り専門医に受診して頂けるように支援いたします。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問医は医療機関と連携し情報交換や相談に努めて頂いています。退院時の診療情報を訪問医に提供し看護サマリーによって看護情報を介護職員に提供して行きます		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化による指針を定め対応していきます。担当医から症状や状態についてご家族に説明し、ご家族の意向を確認します。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDの設置をし、防災訓練時応急対応の訓練を実施しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災計画を定め年2回防災訓練を実施しています。1回は地震、もう一回は水害を想定しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念を基に実践努力しています 年に一度、年間教育計画に従って 動画研修の機会を設けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択肢の中から自己決定出来る様に 利用者に対して声掛けする様に 務めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念を基に実践度量していますが 職員不足や利用者の重度化により 希望に添えないこともあります		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	声掛けをしながら利用者様に合った 身だしなみを実践する様にしていま す。ご家族の協力を頂きながら季節に あった衣類の購入をお願いしています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に出る事ををお願いしながら 職員が食事の準備を行い、献立を掲示 し楽しみにして頂ける様に心掛けて います。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	家庭的な料理を基本として行っていま す。水分摂取や食事量は介護記録 にて管理していますが、栄養バランスや カロリー計算まではしていません		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実践しています 週に1回歯科医が往診しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的な声掛けやトイレ誘導により排泄の失敗が少なくなる様に務めています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防については水分摂取や運動に日常的に心掛けていますが、利用者様の体調によっては医師と連携しながらお薬によって対応しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個浴でゆっくり入って頂ける様に支援しています。入浴時間を定めて対応していますが、特にご本人の希望時間があれば優先して対応しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	特に就寝時間は設定していません。ご利用者様個々の生活習慣を尊重して、休んで頂きます。但し眠りやすい環境づくりに配慮する為にテレビは22:00に切ってもらう様にしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	夜勤者が配薬する事になっておりますので全ての職員が薬の管理について把握しています。処方箋は医師から薬剤師に依頼され、薬剤師から薬の説明や用法、容量についての情報をもらい、職員が介護記録に入力し情報共有します。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事などを一緒にやりながら役割を持つ事により生きがいがいや喜びにつながる様に配慮しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	登呂公園の散歩を日常的に日課としていますが、個別支援として近くのスーパー等へ買い物に行きます。また、ご家族と一緒にの外出に対しても支援致します。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行きたい方には近くのストアに同行し買い物支援を行います。またお金を持っていないと不安になる方にはご家族と相談して金銭管理を行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族またはご利用者様からの希望があれば電話、ラインのビデオ通話に対応しています。ご本人様が手紙を書きたい場合は葉書を準備し住所などの情報を提供します。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各フロアーには職員が季節に応じた飾りつけを行い、衛生的に管理できる様に職員が清掃を行います。空調面はエアコンを一括管理する事により適切な温度に設定します		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	なるべくお話が出来る利用者様同士を同じテーブルにしたり、廊下のソファでお話が出来る様に環境作りに努めています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に御家族と相談しなじみのある空間造りに努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	残存能力に応じて居室からトイレに誘導出来る様に表示や手摺を設置しています。またご自分の部屋が分かる様に名前や飾りを工夫しています。		